

一年間ありがとうございました



この一年、本当にたくさんの行事があったのに、一瞬で過ぎ去ったような気がします。充実していたからこそ、時の速さを感じているのだと思います。きっと、子どもたちも同じ気持ちでしょう。

このように素敵な日々が過ごせたのも、保護者や地域の皆様のおかげです。一年間ありがとうございました。

皆様、よいお年をお迎えくださいませ。



持久走大会頑張りました

12月11日（水）、宇佐川小学校と合同で持久走大会を実施しました。今年度から、学校を出て川沿いを進んで折り返すコースで、低学年は1.2km、高学年は2kmを走りました。

当日は薄曇りで気温が低く風もない、走るには絶好のコンディションとなりました。どの子も顔をゆがめながらも、最後まで一生懸命走り抜きました。応援の皆様の声援も力になったことと思います。

子どもたちは自分なりの目標を設定し、業間時間等を使って日々練習をしてきたので、その成果が十分に発揮できてとても良かったです。

平日の午前中にもかかわらず、寒空の中応援に駆けつけてきてくださった皆様、ありがとうございました。



第2回中学校区拡大熟議、真剣に話し合いました

12月11日（水）、第2回中学校区拡大熟議を実施しました。内容は大きく2つ。親睦を深めるためのAFPY（集団作りゲーム）と、小中一貫教育パネル（こんな子に育ってほしいということが書いてある表）の見直しです。

AFPYは楽しみながら互いの距離が縮まるような活動が仕組まれており、地域の方々との絆が深まったと思います。

また、熟議の内容はやや難しかったものの、みんな真剣に意見を出し合っていました。中学生の司会も立派でした。今回いただいたご意見を参考にし、推敲していきます。熟議へのご協力、ありがとうございました。



学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました

詳しいアンケート結果につきましては、新年号でお知らせいたします。今回は、学校に対するご意見ご質問について2つ回答いたします。

Q：持久走をなぜ平日に実施するのか。川沿いを走るのとはなぜか。

理由は以下の4点です。

- ①本校は、昨年度よりも教職員数が2名減となりました。しかし、複式学級が増え、校務分掌の数は減少せず、しなくてはならない仕事量はほとんど減っていません。1ヶ月の在校時間についても、超過勤務45時間以内のラインをクリアできていない教職員が複数います。そこで、行事の簡略化や削減はやむを得ないというのが現状です。
- ②持久走大会を町内で実施するには、多くの皆様にご協力いただかなくてはなりません。そのための打ち合わせや準備は相当量になり、負担も大きいです。
- ③これまで通りの町内での持久走大会の実施に向けて、学校以外の団体主催を模索しましたが、どの団体も多忙なため、叶いませんでした。
- ④過去の記録の中に、持久走大会を川沿いのコースで実施したことがあると知り、安全面も考慮した上で、過去に戻す形で実施することにしました。

以上の理由から、学校運営協議会やPTA役員会で了承していただいた後、実施方法を変更させていただきました。なんとか存続できる道はないかと考えた末の変更です。この他に、何かよいアイデアがあれば、教えていただけるとうれしいです。今後も、知恵を出し合い、一緒に行事をつくっていきたいと考えています。

今現在の予定では、来年度はさらに教職員数が1名減となります。働き方改革を実現するためにも、行事をどのように実施するかは本校の大きな課題です。

Q：ふるさとまつりの日を、登校日にしたのはなぜか。

理由は以下の3点です。

- ①ふるさとまつりは地域の一大イベントです。小学校としての参加（発表）を要請された際、「地域へ恩返しをしたい」と参加する方向で検討しました。
- ②休日ですから、登校日（出勤日）にしなければ、教職員はボランティア参加となってしまいます。その場合、出退勤途中や行事中の事故や怪我也、自己責任となります。働き方改革の推進もあり、教職員にボランティアを強要することはできません。
- ③登校日（出勤日）なので、授業をする必要があります。昨年度は、総合的な学習の時間の授業の一環として芋の販売等を行ったため、そのまま会場に残りましたが、今年度はその様な学習内容がありませんでした。また、昨年度まつり会場では保護者との引き渡しがあうまくなかったこともあり、今年度は安全面も考え、学校に帰り、授業参観後に引き渡しをし、下校としました。

地域と一体となって子どもたちを育てていくことは、本校の大きな特色です。地域の方々の献身的な学校支援は、本当にありがたいです。それだけに、地域貢献ができる機会には、できるだけさせていただきたいという思いが強いです。しかしながら、働き方改革も待ったなしです。ウェルビーイングな生き方をし、教職員が心身に余裕をもちながら働けることは、子どもたちにもよい影響があると言われています。子どもたちのためにも、働き方改革を実現しなくてはなりません。まさに板挟みです。学校の現状をご理解いただき、今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

皆様、貴重なご意見をくださり、ありがとうございました。

